



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月2日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 東  
コード番号 4558 URL <https://chukyoiyakuhin.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米津 秀二  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 飯田 亨 TEL 0569-29-0202  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月8日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,109	10.3	58	207.6	66	138.0	△57	—
2023年3月期第2四半期	2,818	6.8	18	45.9	28	19.4	0	△93.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△5.45	—
2023年3月期第2四半期	0.07	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	5,342	2,510	47.0	235.89
2023年3月期	5,242	2,583	49.3	242.89

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 2,510百万円 2023年3月期 2,583百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
2024年3月期	—	2.50	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	0.1	80	34.0	100	25.5	△54	—	△5.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	11,660,734株	2023年3月期	11,660,734株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,016,756株	2023年3月期	1,024,733株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	10,639,060株	2023年3月期2Q	10,630,879株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(収益認識関係) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化に向けて回復傾向にあります。一方、東欧における軍事侵攻や中東地域の地政学リスク、エネルギーコストや原材料価格の高騰に伴う物価上昇や為替変動による影響などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、一部には個人消費の回復傾向は見られたものの、物価上昇による消費マインドの冷え込み、さらには原材料や物流コストの高騰、円安など、新たなリスクの顕在化による経営環境へのマイナス要因により、厳しい状況が続きました。

このような環境の中で、当社は企業理念として掲げる「健康づくり、幸福づくり、人づくり」の具現化に向けて、お客さまの生活を支えるための商品や情報・サービスを多角的・多面的に拡充するトータルライフ・ケアを推進してまいりました。また、当社ならではの「ふれあい業」による人と人との絆によるヒューマンネットワークを広げ、お客さまや市場に継続的に評価をいただくことに努め、収益力と企業体質の強化を図ってまいりました。

一方で、除菌消臭関連商品の「エアーマスク」シリーズにおいて、新型コロナウイルス感染症等もあり需要が高まりましたが、5類感染症の移行等により予防意識の変化が起きました。さらに他社の類似商品が、消費者庁より「景品表示法」の措置命令に伴う課徴金納付命令を受けたこともあり、一般市場における需要が想定以上に落ち込むこととなりました。このような環境変化などにより、一般市場の需要回復が困難であると判断し、「エアーマスク」シリーズの関連商品、資材、及び製造の備品等の評価を見直した結果、122百万円を特別損失として計上しました。

その結果、当第2四半期累計期間における売上高は3,109百万円(前年同期比10.3%増)、営業利益は58百万円(前年同期比207.6%増)、経常利益は66百万円(前年同期比138.0%増)、四半期純損失は57百万円(前年同期は四半期純利益0百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①家庭医薬品等販売事業(小売部門・卸売部門)

小売部門においては、事業基盤の強化として配置薬などの委託販売を推進することにより安定した収益基盤の確立や新たな顧客への継続的な販売に取り組みました。また多様化する社会にあったトータルライフ・ケアの推進の為に新たな商品・サービスの開発や販売に努めました。特に「中京プロボリス50」、「薬屋さんが考えた有機野菜酵素」や「クイックシールドゼリー」、「薬屋さんが考えたおいしいカレー」など多くのお客さまから好評を博しました。

今後は積極的な採用活動と共にお客様とのふれあいの強みを活かして更なる新しいサービスや価値創造に注力してまいります。

卸売部門においては、猛暑が続くペットボトル等の飲料が継続的に販売することが出来ました。更に熱中症対策商品等の販売も行いました。特に、飲料における他企業のOEM(プライベートブランド)の企画営業を推進し、商品アイテムも高めてまいりました。ネット通販事業につきましても更に強化し、収益力向上に努めました。

その結果、売上高は2,738百万円(前年同期比10.9%増)、セグメント利益2百万円(前年同期比73.4%減)となりました。

#### ②売水事業部門

昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長性、更に防災対策としての水の備蓄や熱中症対策としての水の必要性等により、早期に中核事業の1つとして確立することを目指しております。そのため、東三河エリアを中心に新規顧客の増加を促進するため営業強化などの活動を行いました。また製造部門では、OEM委託による他社の企業ブランド商品の製造も堅調に推移しました。

その結果、売上高は374百万円(前年同期比2.5%増)、セグメント利益55百万円(前年同期比469.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は3,056百万円となり、前事業年度末に比べ109百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加143百万円及び商品及び製品の減少24百万円によるものであります。固定資産は2,285百万円となり、前事業年度末に比べ10百万円減少いたしました。これは主に無形固定資産の減少25百万円によるものであります。

この結果、総資産は5,342百万円となり、前事業年度末に比べ99百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は2,346百万円となり、前事業年度末に比べ272百万円増加いたしました。これは主に短期借入金の増加210百万円によるものであります。固定負債は485百万円となり、前事業年度末に比べ100百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少100百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、2,831百万円となり、前事業年度末に比べ172百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は2,510百万円となり、前事業年度末に比べ72百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少85百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は47.0% (前事業年度末は49.3%)、1株当たり純資産額は235.89円 (前事業年度末は242.89円) となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年10月12日付けにて発表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,102,892	1,245,897
受取手形、売掛金及び契約資産	564,939	567,921
電子記録債権	8,857	33,503
商品及び製品	595,149	570,260
委託商品	503,819	490,246
仕掛品	81	77
原材料及び貯蔵品	33,368	37,036
その他	144,027	118,386
貸倒引当金	△6,148	△6,583
流動資産合計	2,946,986	3,056,746
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	448,105	433,823
土地	1,198,806	1,198,806
その他(純額)	21,753	24,315
有形固定資産合計	1,668,665	1,656,945
無形固定資産		
212,993		187,038
投資その他の資産		
前払年金費用	98,965	95,528
その他	319,258	346,440
貸倒引当金	△4,157	△334
投資その他の資産合計	414,066	441,635
固定資産合計	2,295,725	2,285,620
資産合計	5,242,712	5,342,367
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	300,160	315,314
電子記録債務	198,902	214,197
短期借入金	830,000	1,040,000
1年内返済予定の長期借入金	200,016	200,076
未払法人税等	45,995	36,560
賞与引当金	135,850	140,690
その他	362,262	399,342
流動負債合計	2,073,186	2,346,181
固定負債		
長期借入金	187,813	87,745
退職給付引当金	154,263	158,539
株式給付引当金	37,367	39,573
資産除去債務	2,545	2,562
長期未払金	178,120	178,120
その他	25,989	18,852
固定負債合計	586,100	485,393
負債合計	2,659,286	2,831,574

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	681,012	681,012
資本剰余金	528,845	528,298
利益剰余金	1,668,255	1,583,189
自己株式	△303,563	△301,192
株主資本合計	2,574,549	2,491,308
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,875	19,484
評価・換算差額等合計	8,875	19,484
純資産合計	2,583,425	2,510,792
負債純資産合計	5,242,712	5,342,367

## (2) 四半期損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,818,622	3,109,647
売上原価	964,770	1,273,357
売上総利益	1,853,851	1,836,290
販売費及び一般管理費	1,834,954	1,778,158
営業利益	18,897	58,132
営業外収益		
受取利息	6	10
受取配当金	590	629
受取家賃	8,233	8,260
その他	2,682	1,881
営業外収益合計	11,513	10,781
営業外費用		
支払利息	2,316	2,047
その他	0	0
営業外費用合計	2,316	2,048
経常利益	28,093	66,865
特別損失		
商品評価損	—	122,232
特別損失合計	—	122,232
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	28,093	△55,367
法人税、住民税及び事業税	21,063	24,149
法人税等調整額	6,306	△21,580
法人税等合計	27,369	2,569
四半期純利益又は四半期純損失(△)	723	△57,936



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	28,093	△55,367
減価償却費	26,920	26,778
のれん償却額	15,275	21,319
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△3,388
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,085	4,275
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	2,201	2,205
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,210	4,840
受取利息及び受取配当金	△597	△640
支払利息	2,316	2,047
商品評価損	—	122,232
売上債権の増減額 (△は増加)	△15,581	△27,627
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△9,145	△47,812
仕入債務の増減額 (△は減少)	67,997	30,449
未払費用の増減額 (△は減少)	570	15,127
その他	△28,886	18,956
小計	81,869	113,398
利息及び配当金の受取額	597	640
利息の支払額	△2,316	△2,047
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△46,036	△33,584
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,114	78,406
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△17,901	△1
定期預金の払戻による収入	8,400	—
有形固定資産の取得による支出	△9,020	△8,003
無形固定資産の取得による支出	△171,881	△2,420
保険積立金の積立による支出	△557	△557
貸付金の回収による収入	—	300
その他	△1,202	1,443
投資活動によるキャッシュ・フロー	△192,163	△9,238
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	60,000	210,000
長期借入金の返済による支出	△100,018	△100,008
リース債務の返済による支出	△7,959	△7,705
自己株式の取得による支出	△16	—
自己株式の売却による収入	387	—
配当金の支払額	△27,039	△28,449
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,646	73,836
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△232,695	143,004
現金及び現金同等物の期首残高	1,286,092	944,896
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,053,397	1,087,900

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	家庭医薬品等販売事業		売水事業 部門	計				
	小売部門	卸売部門						
売上高								
小売販売及び 卸売販売	1,443,221	474,246	348,844	2,266,313	1,222	2,267,535	—	2,267,535
配置販売	551,086	—	—	551,086	—	551,086	—	551,086
顧客との契約 から生じる収益	1,994,308	474,246	348,844	2,817,399	1,222	2,818,622	—	2,818,622
外部顧客への 売上高	1,994,308	474,246	348,844	2,817,399	1,222	2,818,622	—	2,818,622
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	16,653	16,653	—	16,653	△16,653	—
計	1,994,308	474,246	365,498	2,834,053	1,222	2,835,275	△16,653	2,818,622
セグメント利益	1,414	7,700	9,782	18,897	—	18,897	—	18,897

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

家庭医薬品等販売事業の小売部門において、企業価値向上のため顧客の増加と営業エリア拡大による営業権(のれん)を譲受しました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期累計期間において169百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期累計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	家庭医薬品等販売事業		売水事業 部門	計				
	小売部門	卸売部門						
売上高								
小売販売及び 卸売販売	1,398,808	817,758	370,522	2,587,089	1,018	2,588,107	—	2,588,107
配置販売	521,540	—	—	521,540	—	521,540	—	521,540
顧客との契約 から生じる収益	1,920,348	817,758	370,522	3,108,629	1,018	3,109,647	—	3,109,647
外部顧客への 売上高	1,920,348	817,758	370,522	3,108,629	1,018	3,109,647	—	3,109,647
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	4,177	4,177	—	4,177	△4,177	—
計	1,920,348	817,758	374,700	3,112,807	1,018	3,113,825	△4,177	3,109,647
セグメント利益又は 損失(△)	△11,334	13,756	55,709	58,132	—	58,132	—	58,132

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。